神戸新聞 2026年04月02日 木曜日 面名 夕二社 夕４ 6ページ

ＮＩＥワークシート小～高校

角竜類の化石、岩手で発見

兵庫などに続き４例目、白亜紀地層から

上顎の歯と推定

久慈琥珀博物館（岩手県久慈市）と福井県立大などのチームは、トリケラトプスに代表される草食恐竜「角竜類」の歯の化石が、久慈市にある約９千万年前の白亜紀後期の地層から見つかったと発表した。角竜類の化石の発見は兵庫（丹波篠山市）、福岡、鹿児島に続き国内４例目で東日本では初めて。

チームは２０１３年に東北大生が発掘した高さ約１・５センチの化石をコンピューター断層撮影（ＣＴ）で分析。側面のくぼみなどの特徴から、ネオケラトプシア類の上顎の歯とみられる。近縁種との比較から、体長は約２メートルと推定されるという。

角竜類はジュラ紀後期から白亜紀（約１億６３５０万年前～約６６００万年前）まで北半球で広く生息した。ネオケラトプシア類は、トリケラトプスのような大型で角を持つ種が有名だが、小型で角を持たないものも多いという。

また他にも、18～25年に見つかった四つの化石が、草食恐竜の鳥脚類のうちイグアノドン類の歯と判明した。研究に参加する早稲田大の平山廉教授（古生物学）は記者会見で「これまでの調査により久慈には恐竜が少なくとも８種類いて、非常に多様だと分かった。新種の恐竜が期待できる」と語った。

角竜類の復元画（作・小田隆、久慈琥珀博物館提供）

角竜類の歯の化石。右は化石の3Dモデル（同館提供）

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

左の記事を読んで、下の問いに答えましょう。

1　角竜類の化石が発見された日本の4つの県はどこでしょう。。

[　　]県 [　　]県 [　　]県 [　　]県

2（　）に適語を入れて、角竜類の説明を完成させましょう。

角竜類は[　　]紀後期から[　　]紀まで[　　]半球に広く生息した。

3　これまでの調査から、久慈市には少なくとも何種類の恐竜が生息していたことがわかっていますか。

[　　]種類

4　兵庫県丹波篠山市で2024年に発見された角竜類の名前を、次から一つ選んで〇で囲みましょう。

① 丹波竜

② ササヤマグノームス・サエグサイ

③ ヤマトサウルス・イザナギイ

NIEワークシートのこたえ（2026年４月７日公開）

◆ワークシート「角竜類の化石、岩手で発見(理科)」　　2026.4.2付　夕刊　６面　解答

１　兵庫　福岡　鹿児島　岩手

２　ジュラ　白亜　北

３　８

４　ササヤマグノームス・サエグサイ

すてっぷあっぷ

★わたしからのひとこと！（記事についての感想やツッコミを１行で書いてみましょう。）

★１００字シート（□にチェック）　□記事の要約　□記事に対する感想・意見